

刊夕日七月一十

常磐每日新聞

定額一圓五錢
 廣告料五錢
 印刷費五錢
 電話六三〇
 發行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

農民は何うすべきか

不景氣は益々深刻化する。此の未曾有の不況の眞因は一體どこにあるのか。眞因の除かれぬ限り不況はどこまで連鎖するか、計り難い。あたらし善良農民も今は毎日の生活にも不安の現状である。政治家たるもの、要務は只だ事務的な施政でなく、經濟復興の新氣運を作成する心得と研究心がなければ相成らぬ。

農民が田畑を耕作して食物を産し、亦山林を植栽して、木材を供給することを個々に見れば實に一國經濟力の原動力をなすことは何人も否認出来ない。然るに此の貴き生業に従事する、農民の現状は極めて不利の立場にある。

今假に、一俵十五圓の時の米も、現に七圓五十錢の米も米の味や品質は同じである、肥料は比較的高い、租税も變らず地方税は増加一方である。

商人や工人は物價底落せば、そこに何とかして調和的な細工もある、轉嫁といふ事もある、更らに具體的に云ふと品物を悪くしたり少くしたり、手間を省く便法はこれである、農民はそれが無いのだ、農村を復興

するには、世の農學者をして農産品の多收穫の方法も考案させ、且つ手間を或る程度まで省き、そして價格が相當維持されて居る事、此の三個の要件が必要である。

綴り方

カチヤさん

平第三校 勝三

瀧口 勝久

ぼくのうちのとなりはかぢやさんです。ぼくは、がつかうからかへつてから、いつもみてゐます。かぢやさんは、まいにちくまつくろくなつてとつかんちんとつかんちんとやつてゐます。が、やすみになると、ねたりみつおよぎをしますあるひぼくがひかうきをとばしてゐると、ひかうきがかぢやさんのうちへはいつてとつかんちん、とつかんちんとやつてゐるところへぶつかりました。そのときかなづちをふりあげたところでした。ぼくは「あつ」とさけびました。かなづちがしたにきました。ひかうきは「プロブラ」がおつきりしました、ひかうきをもつていかうとした時、かぢやさん

が「これ、はんだでねつばしてやるから」といひました。ぼくはよろこんでました。まもなくできました。ぼくも一つしやうけんめいやればできないことはないといつしやうけんめいおそうちをやると、先生にほめられました。

毛糸と編物用具

全部新色 二・一
 入荷致しました
 相變らず御用命の程.....

平田町
 ハシモトヤ
 糸店

時計眼鏡
 トキワヤ
 平一・電三三九

外科専門 花柳病科

木村外科醫院

入院自炊の便あり
 平町五丁目橋際
 電話三〇九番

磐城セメント會社特約店

久奈屋商店

磐城平町五丁目 電話九番九九番
 □良品廉賣に勝る商略なし
 □確實敏捷は久の生命なり

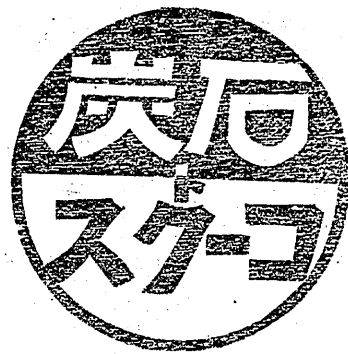
サロンの黒ビール

レストラン サロン
 電三五二

かまぼこの御用は藤寅へ

御用折詰仕出し
 儀式用
 御惣菜用
 迅速
 藤寅
 平町一丁目
 電話一四一番

ナールほど、是レハ良イ石炭ダ
 良イ石炭ダト云フ事ハ何時モ聞イテ居タガ!
 此レ程良イ石炭トハ
 思ハンカツタ
 品ガ良ク
 値ガ安ク
 經濟的ニハ正ニ
 百パーセントダ



モシ〜電話二三七番デスカ
 早ク一俵御届ケ下サイ
 平 停車場前

阿部石炭商店

◇配達ハ一俵ヨリ致シマス

お茶の値下斷行

本場銘茶の優良品を一段と品質を向上致しまして英斷的値下致しました、何卒御試飲下さいませ
 煎茶四十目袋入 十錢より五十錢まで
 ほうじ茶四十目袋入 十五錢 第二號十錢



迅速

大興方面の激戦に 本郡出身者戦死す

江名町中田七藏君

五日朝大興驛東方千五百メートルの小丘を襲撃せる第〇〇聯隊第〇中隊にあつて奮戦した石城郡江名町南町出身中田七藏(二三)は同戦線にて戦死せること判明今朝四時遺族に對し入電があつた

魔の第四坑

頻々と落盤相次ぐ

石城郡湯本町字臺の山入山炭礦長屋居住田村郡巖江村大字下舞木字神平生採炭夫影山安助(三)は五日午後四時頃同坑四坑中の落盤跡を形付け作業中再び落盤に見舞はれ要助は頭部腰部を強打され昏倒したのを同人の妻が発見救助したが間もなく絶命した同所は去る二日に落盤があつた危険な箇所地盤が充分固まらないうでたものであると

湯本三函地内

土橋破損

通行困難

石城郡湯本町三函二〇八地内縣道上の土橋は昨夜豪雨で破損し車馬の通行困難に陥つたので目下修理中である

空巢視ひ横行

胡摩澤鈴木茂助方で五日午前九時半頃稻刈りの留守中

断然増産の——石城郡馬鈴薯新種——神谷村縣農事試験場石城分場では不況に悩む農家副業策として過般來馬鈴薯の栽培研究中であつたが新種岩手三號種は地味氣候共に本縣殊に石城地方の生産に適し本場を凌ぐ好成绩であつて普通反當り收穫三百貫程度の物が断然同種では七百五十貫乃至八百貫を收め倍額以上の生産増を計られるので明春から一般農家に積極的に試作を奨励すべく種芋準備中である

父をたづねて

西へ、東へ流轉の子

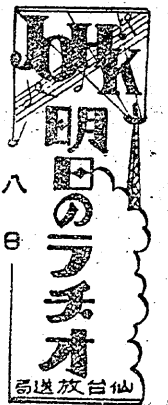
遊藝人の親子をめぐる

人情劇の一物語

山形縣東田川郡廣野村大越生れ遊藝人原百代(三)は長男千代治(〇)が本月三日父親を尋ねる爲め相馬郡中村町に居た際縣道開通式見物中行衛を晦し平へ

逃走した

からと昨六日平署へ千代治の取押方を願出たが前記百代は十數年前茨城縣高濱町に居住中日頃出入して大工職加藤勘藏と關係し遂に妊娠した爲め兩名は相談の結果仙臺方



報豫氣天

今晩は北西の風 晴れ明日は南西の風 晴れ

今晩の部

- 後六、〇〇(子供の時間) お話「大阪城」B.K.コードモサーク
- 後六、三〇 英語講座「中等科第四講」
- 後七、三〇 講演「傳書鳩普及の必要」小西要
- 後八、〇〇 ラヂオドラマ「ライベリイ」東京放送劇團第一部

明日の部

- 後八、四〇 長唱「時雨西行」吉住小三藏外
- 後九、〇五 講演と實演「傳統民謡に就て」吉田二郎其他
- 後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告
- 後八、〇〇 記念談話會「新天主閣より俯瞰して

失業状態調査

石城郡地方は炭礦の事業縮小から労働階級並に知識階級の失業者が多く平職業紹介所では各町村と連絡をとり就職斡旋に努力中であるが年の瀬迫るにつれなほ幾多失業者の増加を見る豫想で平署高等係では各町村に互り失業状態の詳細な調査を開始した

磐城演武大會

磐城劍道會主催の演武大會は二十四日午前九時から平商業學校道場に開催

平職業紹介所便り

求人部

- △商店雑役 廿才以下住込月三圓位外に小使(夏井村精米雜貨店)
- △販賣店員 十三才乃至十八才、住込給料面談(尋卒以上(平町漆器店))
- △傘製造見習 十四才以上住込住着小使、尋卒以上(平町七丁目)
- △配達 十三才乃至十六才、住込面談、尋卒以上(平町七丁目)
- △鮮魚配達 十四才以上住込面談、尋卒以上(平町南町)

秋刀魚に代り

ぶりの大漁で大賑ひ

一日收入八千五百圓

豊間大敷網ホクく 石城郡豊間村漁業組合の大敷網は本月に入つてから連日大漁で大賑ひをみせてゐたが殊に五六の兩日に亘つて鱈の大群を漁獲し二日間

求職の部

- △商店雑役 廿四才、尋卒(平町立町)
- △屋大工 十九才、尋卒(内郷村白水)
- △土工 廿六才、日給八

美味! 芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

- 後一、五〇 運動競技「日米對抗野球試合」
- 後二、〇〇 琵琶「石童丸」田邊蘇川
- 後二、三〇 映畫物語「心の日月」谷天郎 東沼水
- 後六、〇〇 絃樂三重奏「セレナーデ」他五曲 トリオサイネリヤ
- 後六、三〇 ラヂオ講座「ラヂオ受信機最近發達の傾向」横山英太郎
- 後七、三〇 浪花節大會「清水次郎長」玉川勝太郎
- 「鹽原孝子傳」東家左樂遊
- 「水野彌太郎」木村重松
- 「山科妻子別れ」敷島大藏
- 「大高源吾の笹賣り」古田日丸

小説 七五郎

(七十九)

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

【載轉禁】

意氣地 (4)
「む、そうしよう。今夜はゆつくり楽しく飲もうよ」
「さあはやく行きませうよ」
と二人は楽しそうに手を組んで結び合つたやうに態とヨフラマはパーセルの體にしがみつきながら源之助を突放して歸りかけて行く様子だつた。

戸の外の儀助は急いで爪先立てながら其處を立去つた。そして廊下の曲り角に隠れてゐた。

「おい。ゆつくり其處に臥ておいでよ。また明日になつたら見舞つて上げるわよ」
退屈な時には、左様なら泥坊さんおやすみなさい。ごきげんよう。ハハハハア」
ヨフラマは憎々しく接吻を投げる真似をして見せてから、

「旦那、濟まないがちよいとそのスキツチをひねて下さい、地獄の關にして置くものよ」

「灯を消すのかよし」
パーセルの手の下に室内は忽ち舊の闇にかへつた。ヨフラマは體をかがまして足下に落してあつた簪を手逸く拾ひあげた。
そしてそれをかけぎぬの袖にくるんでから源之助の

耳もとに顔をさしよせて低聲に囁いた。
「貴郎、怒つちや厭よ、みんな商賣の懸引だわ、ねえ此處を出たいと思ふならどうかして早くお金をお調へなさいよ、お金に口を利か



せなくちや駄目よ、ね、分つて」
この詞は脳漿が爛れるやうに昂奮し切つてゐた源之助の耳には更にだにいらなかつた。
彼は唯深傷を負つた野獸のやうな大きな呻きを立てた。

コック部屋に静かに今か今かと吉相を待つてゐた歌治の心は、時がのびるだけそれだけ密度を加へてゆく不安の思ひに色づけられたつゝあつた、駄目なのかしら遇つてくれる氣がないのかしら、夫ならそのやうに早く返辭をして呉れさうなものなのに……と止つ追ひつ思ひ惱んでゐるうちに何處でかしきりにベルの鳴る音がけた、まじく響いて居た、續いて物騒がしい人聲や物音が谷底のこだまのやうに静かな夜半の沈黙を

破つて聞えて來た。
不案内な大きな家のなかであるから何處といふ見當はつかなかつたけれども、どうやら庭園一つ離れた別館の方角であるらしかつた。彼女は思はずひよいと立揚がつて耳をたてた。
「どうしたんでせう、今時分……火事か」あるまいし

ね、それとも喧嘩かしら……
不審に思つてゐるうちにばたりと物音がやんで再び舊の静かさにかへつた、それから大分時が経つたが儀助といふコックは戻つて來なかつた。
好いつれづれの友だつた子猫も温かい寝臺の竈の上に母猫の添乳をうけて他愛なく眠りこけてゐた、寂しい彼女の心はいつしか東京の空を駆けめぐつてゐた、川島をあゝして一時釣つて置いたけれども、今度過つたらどの途何んとか返辭をしなければならぬ、それを如何振切つたものであらうかといろ／＼小さな胸を痛めて居つたが、然かし源さんの方ではもうあんな愛想づかしをつけ／＼と言ふ位だから、もう私のことなんか何とも思つてゐないに相違ないだらう、あゝどうしたら宜いだらう。

淋病

十二指
腸虫病

梅毒

皮膚病
婦人病

門專

腸性病 胃性

院醫科 村松

七〇一話電 町南平

◀ 轉移築新 ▶

院醫吹矢

科兒小科内
科病柳花

り通社縣町治鍛古
番六六二電

寒い北海道で出来る靈藥
胃腸病藥の王座を占むる純漢法藥
松前公御典醫之秘法 家登
家傳 藥商標

靈効散

胃腸病で苦しむ方、心臓、腦病、痔疾の方は是非御試し下さい、見本藥は御希望の方に進呈致しますから御遠慮御申出下さい、本藥は有り觸れた胃腸藥の様に一時抑へや習慣性になるものでなく確かに根治の目的を達します、効き目が効能書以上でアイフの三分の一安價で効はアイフ以上値段が安いものですから實際大評判の靈藥です、本藥は責任藥に付き無効の時は返金致します(定價は八日分五十錢です)

平町古鍛冶町(電話四四番)

靈効散

地方代理店

阿康藥舖

冬服衾心

紺色柄物……三ッ揃……拾貳圓
最新柄……三ッ揃……拾三圓五十錢
スゴッチ……三ッ揃……拾六圓五十錢
最上細黒……三ッ揃……拾九圓
高級品……三ッ揃……拾九圓

平町正札堂洋服店 電四三六

貨切の●●●

御用命は?

獅子吼(四四九)ノ勢デ

マツサキ

眞先ニ……(マツサキ)

三九ニタクシーへ!!!

新趣に輝き
實價を誇る
各種
運動服
具裝

大廉賣

平・田町
大運動具店
電七七番

井の
三の
商品切手

八四番
三二番
平三電